

研究の概要

重症心身障がい児(者)の多くは、老化や肌組織の脆弱さからの皮膚の乾燥がある。皮膚への負担が少ない洗浄方法として、泡での撫で洗いが推奨されている。昨年、ナイロンタオルでの擦り洗いから、撫で洗いへ変え、肌の乾燥が軽減されるか研究した。結果、季節変遷に伴う湿度の変化が影響し、泡洗浄の効果がはっきりしなかった。そこで今年は、冬に擦り洗い、夏に撫で洗いし、効果を明らかにする。

研究期間

承認日より2021年11月14日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

看護部2病棟
看護師 河野 灯

オプトアウト

特記なし